

1 過去5年のキノコ採りによる遭難発生状況

(1) 原因別発生状況

	発生 (件)	遭難者 (人)	原因別(人)								
			道迷い	滑落	熊	病気	転倒	転落	疲労	その他	不明
令和元年	7	8	6	1	1						
うち死亡											
令和2年	15	16	5	4	2		1		1	1	2
うち死亡		2		1							1
令和3年	5	5	2	3							
うち死亡		2		2							
令和4年	8	8	3	4	1						
うち死亡		2		2							
令和5年	17	21	10	4	5	1		1			
うち死亡		2		1	1						
合計	52	58	26	16	9	1	1	1	1	1	2
うち死亡		8		6	1						1

原因別では「道迷い」が最も多く、次いで「滑落」が多い。

死亡の原因は、「滑落」が最も多い。

(2) 年代別遭難者累計数 (単位：人)

	39歳以下	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
令和元年	0	0	0	1	5	2	8
令和2年	0	0	0	5	6	5	16
令和3年	0	0	0	0	3	2	5
令和4年	0	1	0	3	2	2	8
令和5年	0	0	1	3	11	6	21
合計	0	1	1	12	27	17	58

年代別では、60歳代以上が全体の9割を超えている。

2 熊の出没状況

本年は、熊の出没が増加（150件（令和6年8月末時点、警察調べ）、前年同期比+24件）しており注意が必要。

3 キノコ採りに伴う遭難防止対策

「山の恵みの収穫よりも安全第一」と考え、次の点に留意する。

- (1) 家族等に行き先、帰宅予定時刻を知らせておき、早出、早帰りを心掛ける。
- (2) 万が一に備え、食料、雨具、懐中電灯、笛などを持参し、特に連絡手段として欠かせない携帯電話を携行する。また、オレンジ色など目立つ色の服を着用する。
- (3) 熊との遭遇を避けるため、笛、鈴、ラジオなどを鳴らす。
- (4) 山の天候は変わりやすく危険。天候が悪くなりそうときは入山を控える。
- (5) 必ず2人以上で入山し、声を掛け合うなどして、常にお互いの位置を確認しながら行動する。
- (6) 自分の体力、健康状態に応じた行動をとり、決して無理はしない。
- (7) 遭難した場合は、夜間の行動はやめて、翌朝まで体力を温存するため、むやみに動かない。捜索中のヘリコプターが見えたら、目立つ色のタオルやシャツなどを大きく振って知らせる。
- (8) 立入規制等について自治体に確認し、指示に従う。